

指令

Mission 04+



ボーイ
スカウト向け

ベンチャー
スカウト向け

考える

自分にできることを 考えよう

ねらい

ボーイスカウト

キャンプや他の活動のときにも
「プラごみバスターズ」の活動を取り込めないか考えてみよう

ベンチャースカウト

自分で課題を設定し、
「はぐれプラごみ」をへらすプロジェクトを企画してみよう

準備物

✓「ピリカ」アプリ ✓ワークシート ✓地域の地図 ✓筆記用具

やり方

1 課題を見つけよう

「ピリカ」の投稿から考えてみよう

他の地域の投稿も見ながら考えてみよう
場所だけでなく、ごみの総量やハッシュタグごとのご
みの量を確認することもできます

<考え方のヒント>

自分たちの街にはどんなはぐれプラごみが多かったらう？
他の地域と比べて気づくことはある？
そのごみが出た理由はなんだろう？
それはよく起こること？時期や場所限定？

自分たちの目で
見たことから考えてみよう

どんな場所にどんなごみがあったか、それはどうして
でたのかを話し合ってみよう

<考え方のヒント>

特にごみが多かったのはどこだろう？
特に印象に残ったごみは何だった？
そのごみが出た理由はなんだろう？

2 課題を解決するために、自分たちにできることを考えよう

まず自分でやってみよう、
と思えることを考えよう

<考え方のヒント>

- ・人の行動を変えるより、自分の行動ややり方を変えたりするものだとやりやすいです
- ・続けられることを考えるのも大事です

仲間を集めたらできそう、
と思えることを考えよう

<考え方のヒント>

- ・一人ではできないけど、やってみたいことを考えてみよう
- ・ボーイスカウトの活動や、自分の知り合いなど、自分たちが持っているものを活用したアイデアから始めてみよう
- ・次ページ以降の「ヒント」を読みながら、似たようなことをやっている人の活動をヒントにしてみよう

ワークシート

自分にできることを考えよう

1 解決したい課題

2 ①の課題を見つけた自分の経験や具体例

3 課題を解決するために、
まずは自分ができるところを考えよう

4 課題を解決するために、
仲間を集めたらできそうなことを
考えよう

5 実行する計画を立ててみよう

ボーイスカウト キャンプや他の活動のときにも「プラごみバスターズ大作戦」の活動を取り込めないか考えてみよう

ベンチャースカウト 自分で課題を設定し、「はぐれプラごみ」をへらすプロジェクトを企画してみよう

ヒント
HINT

1

自分にできることを考える

人に話を聞いてみよう!

似たようなことを考えて行動していたり、調査をしていたりする人が世界にはたくさんいます。大学で研究をしている人やボランティア活動をしている人、会社で働いている人の話を聞いてみましょう。きっと自分の世界がひろがります

プラスチックはどこからくるか、
もっと知りたい!

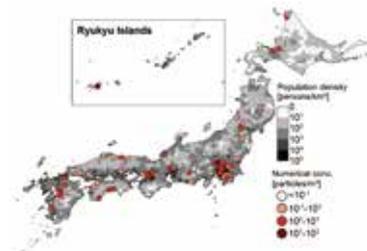
**日本全国の川を調査した
先生発見!**



愛媛大学大学院
理工学研究科
生産環境工学専攻
環境建設工学コース
准教授
片岡 智哉 先生

「いつ、どこから、どのように」を調べて、 解決方法を探したい

陸から海へプラスチックが流れていくことはなんとなくわかっていましたが、いつどこからどのように流れてくるのかをくわしく調べた人はいませんでした。私たちは北海道から沖縄まで、70の川を調べました。私たちの調査では皆の街で細かくなり、雨などで流れ出たプラスチックがたくさん見つかりました。調査は大変でしたが、人が多くくらしている街のそばの川ほどマイクロプラスチックが多いこと、雨の日になるといつもの10倍近くに増えることなど、いろいろなことがわかりました。意外と知られていないのですが、台風などの自然災害の時に大量のごみが海に出てしまいます。普段の生活でなるべくプラスチックごみをリサイクルするだけでなく、ごみが川に流されない「災害対策」も重要なのです。



市町村人口密度と河川マイクロプラスチック濃度分布の比較

ごみ拾いの輪って
どう広げたらいいんだろう?

**ごみ関連の人の行動や考え方を
研究している先生発見!**



京都大学大学院
地球環境学
准教授
浅利 美鈴 先生

行動する人としらない人のちがいはなんだろう?

私は、大学生の時に仲間と大学中の研究室を回って、ごみ分別や省エネを促す活動をしていましたが、全員を巻き込むのにすごく苦労しました。多くの人は「良くない」と思っている、実際に行動する人は5人に1人くらいです。私は行動する人を増やすにはどうしたらいいんだろう?と考えて、本を作ったり、行動しやすい人の特徴などの調査や活動をしています。例えばごみとは全然関係がなくてもボランティア活動をした経験がある人とならない人では、行動しやすさが全く違ったりします。他にもごみ箱はある方がいいのか、それともない方がいいのか?という論争はよくされますが、皆さんはどう思いますか?ごみ箱がある公園とない公園、どちらがごみが多く落ちているか調べてみるのもおもしろいかもしれません。



いろいろなプラ製品を知るためにカバンを調べてみるのもおすすめです!

話して
みたい人
を見つける
ヒント



新聞やニュースで
取材された人の
話を読んでみる



インタビュー記事や
論文を読んでみる
研究発表を聞いてみる

おすすめサイト

どんな研究が
されているだろう?

日本の研究 .com
<https://research-er.jp/>

どんなニュースが
あるだろう?

サイエンスポータル
<https://scienceportal.jst.go.jp/>

ヒント
HINT

2

自分にできることを考える

未来に向かって問いを立ててみよう

アイデアを出す時、考えるための問いを立てることも大切です。「なんでこんなにはぐれプラごみが出てしまうのだろう?」だけでなく、「将来どんな暮らしをしたい?」「どんな街に暮らしたい?」といったように未来に向かって問いを立ててみるのも良いかもしれません。

問いを立て、挑戦している先輩たち

科学技術の力で
環境問題の解決を
目指す会社



株式会社ピリカ
小島 不二夫 さん

みんなと楽しく、お金をかけずに 環境問題を解決する方法はないか?

私は子どもの頃からの夢だった環境問題の解決のため、まずは自分の目で確かめてみようとして大学生の時に世界一周の旅に出ました。そこで見つけたのが、ポイ捨てされたごみの問題です。そして「ITを使って、お金をかけずに問題を解決できないか?」と考えて仲間と作ったのがごみ拾いSNS「ピリカ」です。「ピリカ」を使ってもらうことで、ごみ拾いをしている人が「もっとやってみよう」とか「友達もさそおう」と、ごみ拾い活動を広げられるように工夫しました。私は科学が大好きです。その科学が生み出した問題を、科学の力で解決する。まずはポイ捨てごみの問題からはじめて、いつかあらゆる環境問題を解決することを目指して、何年かけても、どんな回り道をして、一步一步前に進んでいきたいと思っています。



ごみ拾いSNS「ピリカ」で全国のボーイスカウトの活動を共有して、活動を続けていくしかけを一緒に作ります!



プラスチック製品を
製造・リサイクル
する会社



墨田加工株式会社
鈴木 洋一 さん

1000年後も残ってしまうごみ。 恥ずかしくない捨て方ってなんだろう?

プラスチックは、私たちの生活に欠かせないものです。たとえば、ガラス瓶より軽くて壊れにくいペットボトルによって、気軽に飲み物を持ち歩けるようになりました。しかし、ガラスや金属と比べると新しいものなので、まだまだルールやリサイクル方法は完璧ではありません。皆さんはごみを捨てた後、どうなるか知っていますか?実はごみを処理してくれる会社によって、「うめる」「燃やして燃料にする」「リサイクルする」と方法が違います。私は1000年後に自分の会社の名前が書かれたプラスチックごみが土の中からたくさん出てくるのはいやだなと思い、工場ですごみを減らすのはもちろん、捨て方をしっかり選んだり、出しまったごみを使ってなにか使えるものを生み出したりといった工夫をしています。



スカウトが集めたペットボトルキャップを使ってはぐれプラごみを減らすための「ごみばこ」を作ります!

